
第2部

本論

後期基本計画

GO TO

THE STRATEGIC PLAN CITY OF TATEBAYASHI

2020



第1章

政策・施策の体系

GO TO
THE STRATEGIC PLAN CITY OF TATEBAYASHI
2020

館林オリジナルツツジ
“花山シリーズ”



紫乙女

【ムラサキオトメ】

鮮紫ピンク色で美しく、花弁の先が整っています。

基本目的Ⅰ より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち

- 施策目的01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる
- 施策目的02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる
- 施策目的03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる
- 施策目的04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる

基本目的Ⅱ 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち

- 施策目的05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる
- 施策目的06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる
- 施策目的07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる
- 施策目的08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる

基本目的Ⅲ 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち

- 施策目的09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる
- 施策目的10 適切な医療を受けることができるまちになる

基本目的Ⅳ 子どもたちが健やかに成長できるまち

- 施策目的11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる
- 施策目的12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる

基本目的Ⅴ 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち

- 施策目的 1 3 生涯にわたって学び続けることができるまちになる
- 施策目的 1 4 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる
- 施策目的 1 5 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる

基本目的Ⅵ 便利で快適な住みやすいまち

- 施策目的 1 6 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
- 施策目的 1 7 まちなかににぎわいがあるまちになる
- 施策目的 1 8 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる
- 施策目的 1 9 緑の多い魅力のあるまちになる

基本目的Ⅶ 出会いと交流のある元気で活力のあるまち

- 施策目的 2 0 新しい産業が起きるまちになる
- 施策目的 2 1 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる
- 施策目的 2 2 安定した労働環境が整っているまちになる
- 施策目的 2 3 農産物を安定して提供できるまちになる
- 施策目的 2 4 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる

基本目的Ⅷ まちづくりのしくみが整い発展できるまち

- 施策目的 2 5 まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる
- 施策目的 2 6 人権尊重の意識が生活のなかに定着した住みよいまちになる
- 施策目的 2 7 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる
- 施策目的 2 8 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる

第2章

施策目的

GO TO
THE STRATEGIC PLAN CITY OF TATEBAYASHI
2020

館林オリジナルツツジ
“花山シリーズ”



春 紫
【ハルムラサキ】

明るい紫赤色の美しいツツジです。花期は早く4月上旬に咲きます。

計画書の見方

本論

環境・安全

※基本目的 |

「施策目的」
基本目的を達成するための手段を記載しています。

施策目的01

良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる

市民一人ひとりが自然環境の大切さや重要さを認識し、日々環境にやさしい行動に心がけ、より良好な環境が形成されているまちをめざします

「現状と分析」
本市が置かれている現状や課題を記載しています。

現状と分析

- 環境問題は、私たちの日常生活やさまざまな経済活動から生じる河川や池沼の水質汚濁、大気汚染、騒音・振動、オゾン層破壊をはじめ、その影響が地球規模に及ぶものがある。
- 身近な地域の環境が、良好な環境を改善し、保全していくことが求められています。
- 市民や事業者が、環境についての理解を深め、自らのライフスタイルや事業活動を見直し、地球環境の保全を優先させた実践活動を続けていくことが必要です。

「施策の方向」
今後のまちづくりの方向性を記載しています。

施策の方向

- 市民が環境の現状を認識し、環境保全意識の高揚を図るため、環境問題の啓発や環境学習の機会を提供し、環境教育を実施する。
- 市民や事業者などが環境保全活動に取り組むことを支援するとともに、協働して環境保全活動を行う。
- 低炭素社会の構築を推進するとともに、再生可能エネルギーなど[※]を普及させるとともに、環境負荷の軽減に努めます。
- 河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭、地盤沈下などの環境の状況を常に把握するとともに、事業所への調査や指導を行うことにより、公害の防止に努めます。
- 生活排水を適正に処理するために、公共下水道などを地域の特性に応じてよりいっそう計画的に整備し、利用を促進するとともに、施設の長寿命化を図りながら維持管理に努めます。
- 水に親しみ、ふれあえる地域の貴重な水辺環境、身近な野生生物や貴重動植物が多数見られる生物多様性に富んだ自然環境の保全と創出に努めます。
- 地球温暖化対策や暑さ対策に重要な役割を果たす緑の普及や啓発に努めます。
- 市民と連携して、環境美化、衛生向上、動植物の保護に努めます。

※ 再生可能エネルギーなど：資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーのこと。(太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマス) また、将来的なエネルギーとして水素の利活用も注目されている。

36 たてばやし市民計画2020

より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち

「基本目的」

将来のまちの姿を実現するための、基本的な方向を示したものです。

「指標」

各施策の達成状況を測るものです。基準値からの今後の目標を矢印で示しています。

指標

指標	指標の内容	基準値	今後の目標
BOD 数値 (城沼中央の水質)	水の汚れ具合を表す目安(BOD とは生物化学的酸素要求量のこと、微生物が有機物を分解する時に必要とする酸素量のこと) ※数値が低い方が良好 【参考】鶴生田川(城沼)の環境基準点は、城沼下流の岩田橋。環境基準値(BOD)は 5mg/ℓ 以下	8.0mg/ℓ (平成 26 年度)	↓↓↓
下水道水洗化率	公共下水道を利用できる地区に住んでいる人のうち、どれくらいの人が実際に下水道に接続し、水洗化しているかを示すもの	86.5% (平成 26 年度)	↑↑↑
CO ₂ 排出の抑制を心がけている市民の割合	市民活動調査 「地球温暖化を進めないよう、こまめな節電や冷暖房機の控えめな温度設定、自動車利用を避けるなど、CO ₂ の排出を抑制する活動」	83.5% (平成 25 年度)	↑↑↑
良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合	市民活動調査 「清掃、環境美化・緑化、自然環境や動植物の保護など、良好な環境をつくるための活動」	42.6% (平成 25 年度)	↑↑↑



